

GMOはどこにあるでしょうか

GMOは1990年代から市場に出回っており、私たちの食卓には欠かせないものとなっています。

米国で買うことができるGMOには、アルファルファ、リンゴ、ナタネ、トウモロコシ、ワタ、パパイヤ、ジャガイモ、ダイズ、ズッキーニ、テンサイ、パイナップルがあります。

養殖アトランティックサーモンや、ある種のブタに由来する豚肉は、食用として認可されています。

しかし、まだ広く出回っていないため、市場では見かけないかもしれません。

GMO作物の多くは牛や鶏などの飼料に使用されています。新鮮な果物や野菜の中にもGMOの品種がいくつかありますが、人々が口にするGMOのほとんどは加工食品に含まれています。

特定の種類のGMOについては、その食品が「**生物工学によって改変された**」¹ものかどうかを知らせる情報が開示されています。

「全米バイオ工学食品情報開示基準」では、生物工学によって改変された食品を、特定の実験技術によって改変された検出可能な遺伝物質を含み、従来の育種法では作出できない、または自然界に存在しないものと定義しています。



www.fda.gov/feedyourmind でGMOに関する事実をもっと知ってください。



¹<https://www.ams.usda.gov/rules-regulations/be/bioengineered-foods-list>